

大隅地域感染症情報

第33週報 (令和6年8月12日～令和6年8月18日)

発行：大隅地域振興局保健福祉環境部（鹿屋保健所）発行日：令和6年8月22日
 【問い合わせ先】 TEL:0994-52-2106 FAX:0994-52-2110 メール: oosumi-sippe@pref.kagoshima.lg.jp

県内に手足口病流行発生警報発令中！

〇定点把握疾患

鹿屋保健所管内では、手足口病、ヘルパンギーナの流行発生警報発令中です。
 COVID-19の定点当たり報告数は鹿屋保健所管内、志布志保健所管内とも減少しています。
 例年お盆明けにはCOVID-19の報告数が増加傾向にあります。体調に留意して、手洗い、効果的な場面でのマスク着用、換気などの基本的な感染対策を行いましょう。

<定点当たり報告数>

疾病	警報レベル 開始 / 終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体	県全体
			30週	31週	32週	33週	30週	31週	32週	33週	33週	32週
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.13	0.13	0.00	0.13	0.00	0.25	0.50	0.00	0.08	0.34
COVID-19	-	-	27.88	24.25	12.00	9.25	17.75	11.00	8.75	7.25	8.58	9.85
RSウイルス感染症	-	-	7.60	2.40	1.20	1.40	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	3.65
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	1.00	1.80	2.40	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.57	1.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	2.20	1.20	0.60	1.60	0.00	0.00	0.00	0.00	1.14	1.35
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	8.80	7.80	9.40	6.60	0.00	0.00	0.00	0.00	4.71	3.37
水痘	2.00/1.00	1.00	0.40	0.60	0.40	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.18
手足口病	5.00/2.00	-	9.40	12.80	13.20	11.40	0.00	0.00	0.00	0.00	8.14	6.59
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.00	0.00	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06
突発性発疹	-	-	0.20	0.40	0.60	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.71	0.39
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	8.60	11.20	11.20	5.80	0.00	0.00	1.00	0.00	4.14	2.86
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.00	0.40	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02
急性出血性結膜熱	1.00/0.10	-	0.00	0.00	0.00	0.00						-
流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00						0.86
細菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
無菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.75
クラミジア肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
COVID-19 入院患者(人)	-	-	8	8	3	2	6	9	4	2	-	

※小児科定点からの報告数です。

■ 警報基準値以上 ■ 注意報基準値以上

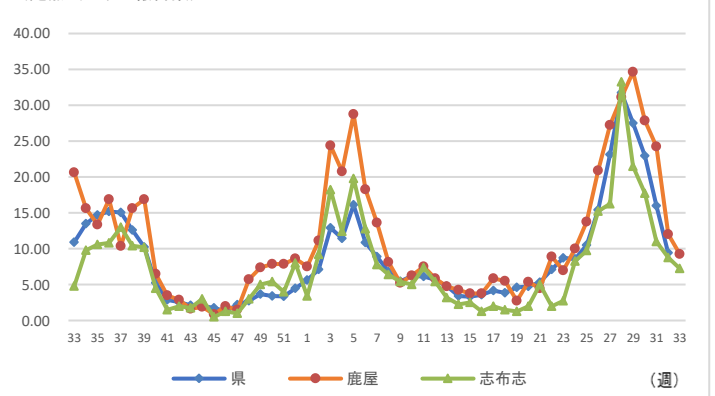
<注目すべき感染症>

・COVID-19

鹿屋保健所における患者報告数は、前週より22人少ない74人(定点当たり報告数9.25)で、志布志保健所における患者報告数は、前週より6人少ない29人(定点当たり報告数7.25)でした。年齢別では、80歳以上(27人)、70～79歳(13人)、60～69歳(10人)の順に多くなっています。

重症化リスクの高い方と会われる際など場面に応じて、手洗いや手指消毒、換気などの基本的感染対策に自主的に取り組みましょう。

(定点当たりの報告数) COVID-19の推移



○全数把握疾患

	鹿屋保健所管内	志布志保健所管内
一類感染症	該当なし	該当なし
二類感染症	該当なし	該当なし
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1例	該当なし
四類感染症	該当なし	該当なし
五類感染症	該当なし	該当なし

*速報値であり、後日修正になる可能性があります。

○学校における感染症による出席停止の状況 8/12～8/18

鹿屋保健所及び志布志保健所管内における報告はありませんでした。

★今週の TOPIC ～海外渡航後に気をつけたい感染症について～

夏休みを利用して海外へ渡航し、帰国された方もいらっしゃる中で、感染症には、潜伏期間が数日から1週間以上と長いものもあり、渡航中又は帰国後に症状がなくても、しばらくしてから感染症を発症する場合があります。

海外では、国内に常在しない感染症や日本よりも高い頻度で発生している感染症が報告されており、また、多くの人々が移動・集合する大型イベントでは、感染症へのリスクが高まるため、注意が必要です。

○食べ物や水を介した消化器系の感染（A型肝炎、腸チフスなど）

- ・A型肝炎は、世界各地で見られますが、衛生状態が悪く飲用水の管理が悪い地域でのリスクが高く、2～7週間の潜伏期間の後に、発熱、全身倦怠感、食欲不振、吐き気や嘔吐が見られ、数日後に黄疸が現れます。
- ・腸チフスは、特に南アジアで感染のリスクが高く、感染して1～3週間は症状はなく、その後、高熱、頭痛、全身倦怠感、発しん、便秘などの症状が現れ、高熱の割に脈が遅いのが特徴的です。重大な症状として、腸出血、腸穿孔を起こすこともあります。

○蚊などを介した感染症（マラリア、デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、オロブーシェ熱など）

- ・マラリアは、潜伏期間は1～4週間であり（原虫種によって異なります。）、発熱、悪寒、頭痛、嘔吐、関節痛、筋肉痛などの症状が現れます。
- ・デング熱は、日本人の推定感染地域として多いアジアや、流行拡大している中南米を含め熱帯・亜熱帯地域に広く分布し、2～14日（通常3～7日）の潜伏期間の後、発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、発しんが現れ、時に重症化することがあります。

○ダニを介した感染症（リケッチア症、重症熱性血小板減少症候群、ダニ媒介脳炎など）

○人から人に広がる感染力の強い感染症（麻しん、風しんなど）

- ・麻しん、風しんは世界の多くの国で流行しています。特に、現在、海外で流行が報告されている麻しんは、海外からの輸入症例を契機とした国内における感染事例も報告されており、注意が必要です。

帰国時・帰宅後に体調が悪くなったら

【帰国時】

空港や港に設置されている検疫所では、渡航者の方を対象に健康相談を行っています。

帰国時に発熱、咳、発疹、下痢などの症状があったり、具合が悪かったり、体調に不安がある場合や動物に咬まれた、蚊に刺されたなど渡航先での出来事で健康上心配なことがありましたら、検疫官までご相談ください。

【帰宅後】

感染症には、潜伏期間（感染してから発症するまでの期間）が数日から1週間以上と長いものもあり、渡航中又は帰国直後に症状がなくても、しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。

その場合は、医療機関を受診し、渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、渡航先での活動内容、動物との接触の有無、ワクチン接種歴などについて必ず伝えてください。

（参考）海外へ渡航される皆さまへ！（厚生労働省検疫所 FORTH）

https://www.forth.go.jp/news/20220722_00001.html

